

# 取扱説明書



45cmフロア扇アルミ羽根 強風量タイプ

注文コード:41526495

## MSFX-20



このたびは、弊社「フロア扇 MSFX-20」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。この  
製品は海外ではご使用になれません。

## 本製品ご使用に際してのお願い

この製品は設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

# 設計上の標準使用期間 5年

## 標準的な使用条件

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置	本書に基づく設置
負荷条件		定格負荷
想定時間	運転時間	8時間 / 日
	運転回数	5回 / 日
	運転日数	110日 / 年
	首振運転の割合	100%

※ 設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。

※ 製品の保証期間とは異なるものです。

### ご注意

- 本製品は、設計標準使用期間を「5年」と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。
- 本製品の設計標準使用期間は、上記使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計標準使用期間を設定しております。
- 本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使いいただいた場合においては、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。
- 設計標準使用期間内であっても製品を目的外の用途で使用された場合、または取扱説明書の注意・警告にて禁止された環境でご使用された場合は、製品の破損や重大事故発生のおそれが高まるので、そのようなご使用はお控えいただくようお願いいたします。

# 工場扇ご使用にあたっての注意事項

長年ご使用された工場扇では、モーター、コード、コンデンサー等の電気部品の経年劣化による発煙、発火のおそれがあります。ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合はすぐに使用を中止し、差込プラグをコンセントから抜いてください。

- スイッチを入れても羽根が回らない
- 羽根が回っても異常に回転が遅かったり不規則
- 回転するときに異常な音がする
- モーター部分が異常に熱くなる、コゲくさい臭いがする

## その他の注意

- ご使用になる前に、羽根やガードはしっかり取り付けられているか、ガードが変形して羽根に接触していないかを確認してください。
  - ご使用前に電源コードが折れ曲がっていたり、破損がないかを確認してください。
  - けがのおそれがありますので、運転中はガードの中へ手や物などを絶対に入れないでください。特に小さなお子様はご注意ください。
  - ご使用にならないときは差込プラグをコンセントから抜いてください。
  - 定期的な点検を心がけてください。
- ※ 長期間コンセントに差込プラグを差し込んだままにすると、トラッキング現象（注）をおこして火災の原因になります。また絶縁劣化による感電事故や漏電火災が発生する危険性があります。

### （注）トラッキング現象とは

差込プラグとコンセントの間にホコリがたまり、そこに湿気が加わると、火花が発生しやすくなります。その熱がコンセントに接する絶縁部を加熱し、差込プラグの刃と刃の間に「トラック」と呼ばれる電気の道が作られ、そこから放電をおこして発火する現象のことをいいます。

これらの注意事項をお守りいただき、安全にご使用いただきますようお願いいたします。

# 安全上のご注意

## —安全にお使いいただくために—

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。

## ■ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、製造者および販売者は一切の保障、責任を負いません。また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

## —表示と意味について—

表示		条件
	警告	この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な障害に結びつく可能性があります。

	注意	この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。
---	----	--

図記号の例		図記号の意味
	禁止マーク	製品の取扱いにおいて、その行為を禁止するマークです。
	指示マーク	製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するマークです。

## ⚠ 警告

 分解禁止	火災・感電・ケガのおそれがありますので、絶対に改造や分解をしないでください。	 電源プラグを抜く	清掃・点検の時は、スイッチを切り、差込プラグをコンセントから抜いてください。濡れた手で抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 接触禁止	運転中は危険ですので、ガードの中に手や物などを絶対に入れないでください。ガードを外して運転しないでください。回転中の羽根で指が切断される重大な傷害や事故の原因になります。	 ホコリをとる	差込プラグの刃及び、刃の取付面に付着したホコリは、きれいに拭き取ってください。火災のおそれがあります。
 使用禁止	ご使用中に、回転停止・異常音・振動・異臭等が発生した時は、直ちに使用を止めスイッチを切り、差込プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電のおそれがあります。	 水ぬれ禁止	製品には水や洗剤等をかけたり、吹付けたりしないでください。雨水のかかるところで使用しないでください。漏電により、火災・感電のおそれがあります。
 100V 使用	電源は、交流 (AC)100V を使用してください。交流 (AC)100V 以外の電源を使うと、火災・感電のおそれがあります。		

## ⚠ 注意

 設置場所	平らで強度のある安定した場所に設置してください。傾きが 10 度以上の場所や振動のある場所で使用しないでください。首振りの際に周囲に障害物がないことを確認してください。	 使用禁止	切削油などの油煙が発生する場所では使用しないでください。油煙によって製品が破損する場合があります。
 使用禁止	モーター焼損や羽根が損傷するおそれがありますので、換気扇としては使用しないでください。また、ダクトや筒状の中等でも使用しないでください。	 使用禁止	引火・変質・破損するおそれがありますので、揮発性可燃物（シンナー・ガソリン等）の近くでは絶対に使用しないでください。殺虫剤・掃除用スプレーなどを吹き付けしないでください。
 プラグを持って抜く	差込プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず差込プラグを持って引き抜いてください。差込プラグや電源コードが傷んでいるときは使用しないでください。	 使用禁止	屋外や雨水のかかる場所、直射日光が当たる場所・高温多湿の場所での使用はしないでください。火気には近づけないでください。絶縁劣化による感電、漏電、火災・故障のおそれがあります。使用温度範囲は 0 ～ 40℃ です。

## ⚠ 注意

 取扱注意	<p>上下調整の角度を変えるときは、差込プラグをコンセントから抜き、スイッチを切り、羽根の回転が止まったことを確認してから操作してください。</p>	 電源プラグを抜く	<p>絶縁劣化による火災・感電のおそれがありますので、ご使用後は、差込プラグをコンセントから抜いてください。</p>
 接近注意	<p>運転中は本製品に近づかないでください。特にお子様には充分注意をしてください。</p> <p>ネクタイ・手袋・カーテン等が巻き込まれないように注意してください。</p>	 保管注意	<p>屋外や雨水のかかる場所、直射日光が当たる場所・高温多湿の場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。</p>
 取扱注意	<p>けがのおそれがありますので、組立やお手入れの際は、手袋を着用してください。</p>	 配線注意	<p>電力は直接コンセントからお取りください。やむを得ず延長コードを使用する場合は、できるだけ短い長さでご使用ください。</p>
 使用禁止	<p>電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差込がゆるい場合は使用しないでください。感電やショート、発火の原因になります。</p>	 取扱注意	<p>本体の掃除に、タワシ・研磨剤・ベンジン・シンナー等をご使用になりますと、塗装面の剥離や変形・破損を引きおこしますので、使用しないでください。羽根に貼付された注意シールをはがさないでください。</p>

### 【用途】

- ◆ 工場内の換気や夏の暑さ対策に。

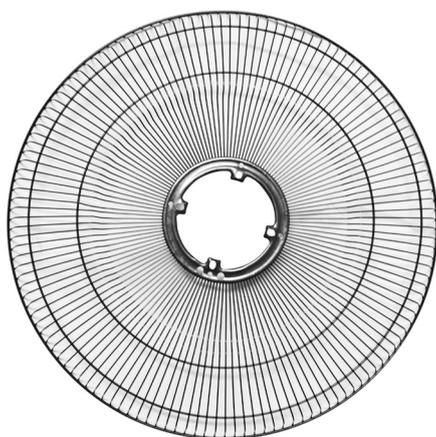
### 【特長】

- ◆ 羽根の材質をアルミ製の3枚タイプにすることにより樹脂製の羽根よりも軽量化になり、強風量を実現しました。
- サーマルプロテクター（復帰式過熱保護装置）付モーターを使用しておりますので、安心してご使用いただけます。
- モーターが異常発熱すると、自動的にモーターが停止します。モーターの温度が下がると自動的にモーターが回転します。
- ロータリー式スイッチにより、風量を3段階に調節できます。
- 左右首振り・上下調整が出来ます。

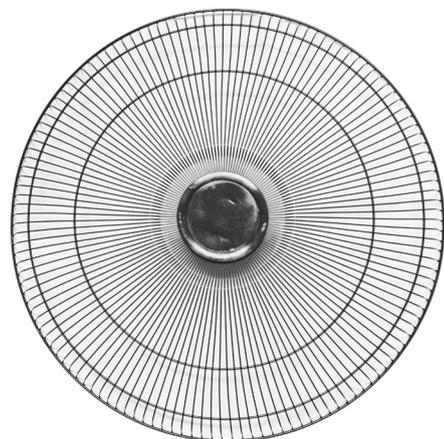
## 【組立部品図】



①モーター部×1個



②後ガード×1個



③前ガード×1個



④羽根×1枚



⑤ガードリング×1個  
(前ガードに装着済)

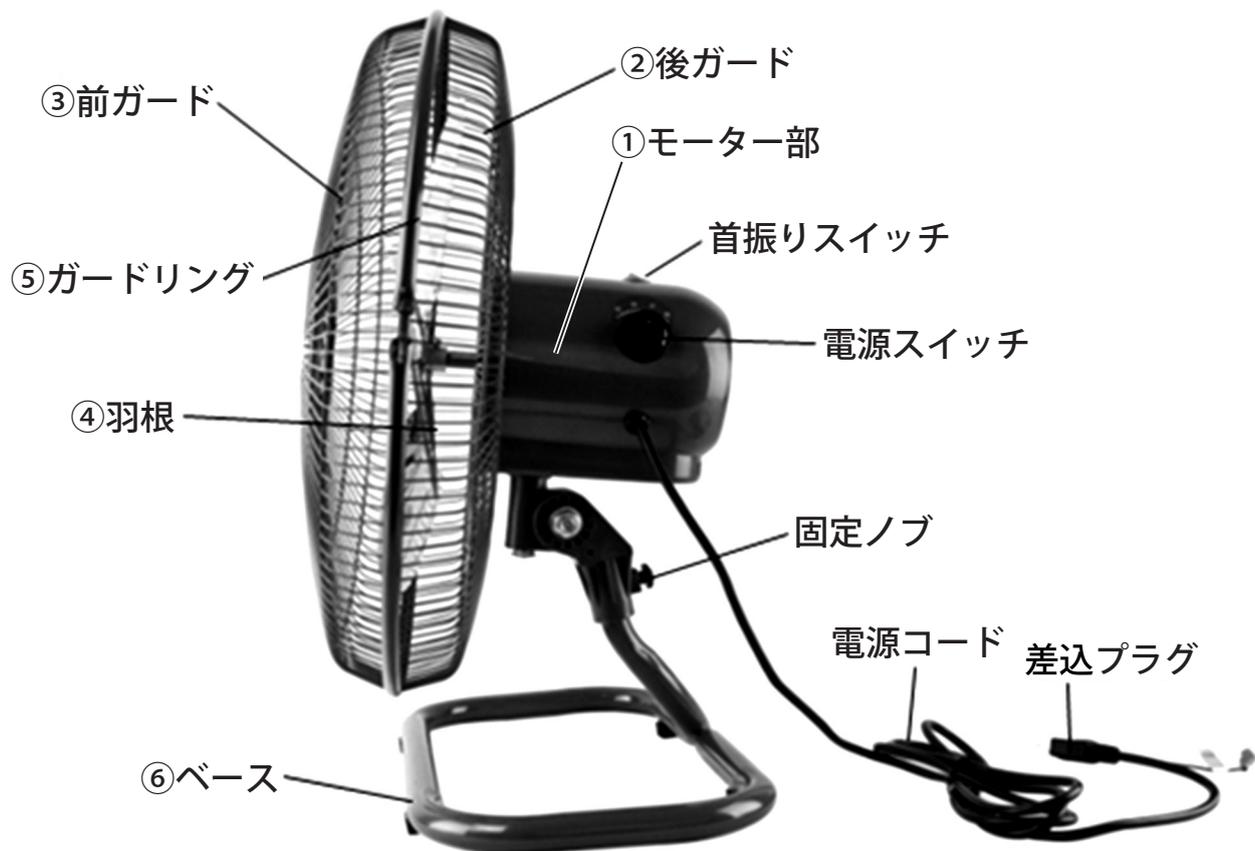


⑥ベース×1個



⑦固定ビス×1個  
(羽根用・予備)

## 【各部の名称】



## 【組立方法】

**⚠ 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

製品を組み立てる際は、各部のネジを確実に締め付けてください。確実に締め付けて固定していないと、振動でゆるみ、けがや事故の原因となります。

運送途上の衝撃等により、部品の破損・外れ・変形が発生する場合がありますので、必ず組立前に破損・変形等がないかをご確認ください。

組立てる際には、必ずスイッチを切り、差込プラグを抜いた状態であることを確認してください。

1. ⑥ベースに①本体を差し込み、固定ノブでしっかり締めつけてください。

**⚠ 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

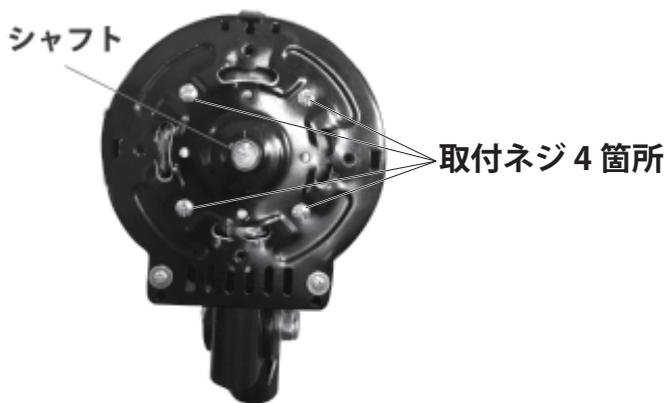
確実に締め付けて固定していないと、振動でゆるみ、けがや事故の原因となります。



2. ②の後ガードはモーターのネジを取り外した4箇所の穴の位置に合わせ、先に取り外したネジで確実に取り付けてください。

**⚠ 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

確実に締め付けて固定していないと、振動でゆるみ、けがや事故の原因となります。



モーターを正面から見た図

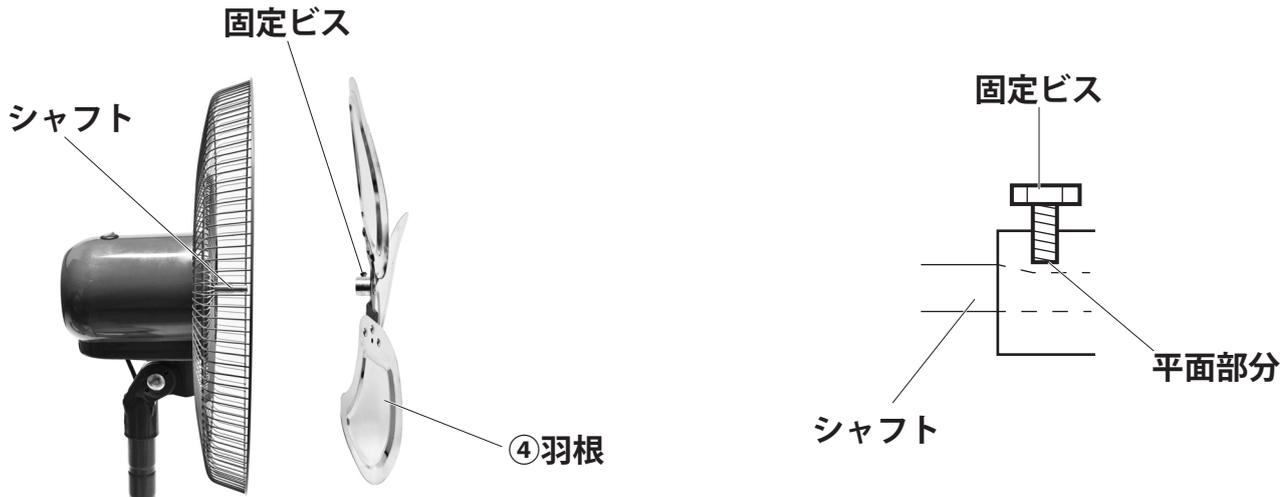


3. ④の羽根に取り付けてある固定ビスを緩めておきます。

モーターシャフトの平面部分に固定ビスを締め付けられるように、位置を合わせながら差し込みます。固定ビスでしっかりと締め付けて固定してください。

**⚠ 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

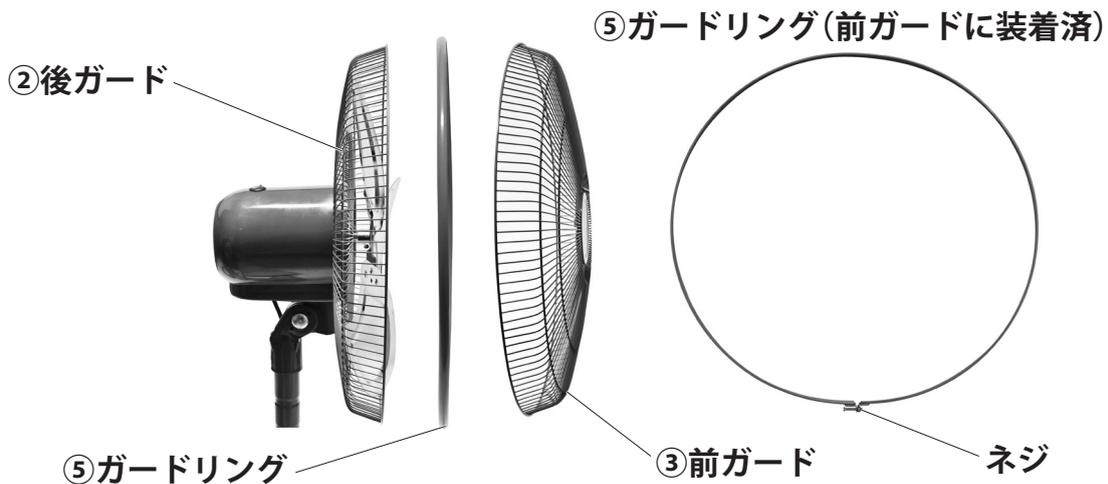
確実に締め付けて固定していないと、振動でゆるみ、けがや事故の原因となります。



4. ③の前ガードは⑤のガードリングのネジをゆるめ、②の後ガードに合わせて取り付けます。⑤のガードリングのネジをしめてしっかりと固定してください。

**⚠ 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

確実に締め付けて固定していないと、振動でゆるみ、けがや事故の原因となります。



**⚠ 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

ガードリングのねじの締め付けがゆるいと振動で外れることがあります。ねじを確実に締め付けて、ガードが外れないことを確認した上でご使用ください。

確実に締め付けて固定していないと、けがや事故の原因となります。

## 【操作方法】

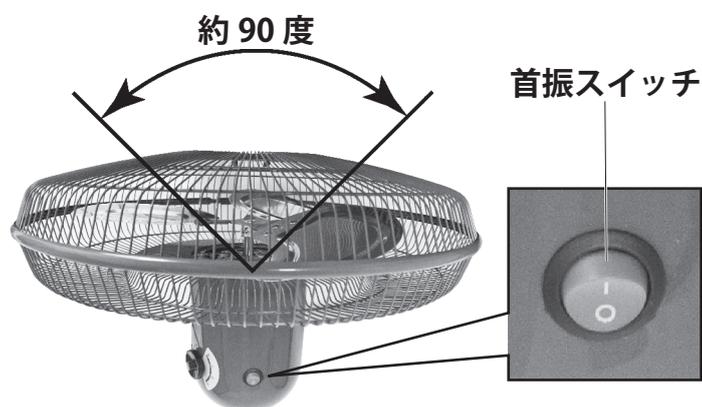
### 1. 電源スイッチ

電源スイッチは3段階に風量が調整できるようになっております。「弱・中・強」のダイヤルを回すと運転を開始します。「切」にすると運転を停止します。



### 2. 首振

- “ | ” を押す → 左右 90 度首振をします。
- “ ○ ” を押す → 首振り停止をします。

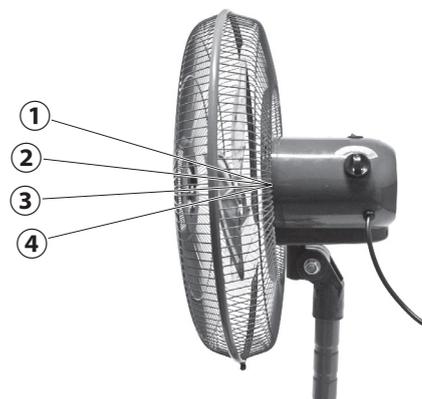


**⚠ 注意** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的障害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

首振りを使用しないときはスイッチを「○」の位置にしてください。  
「○」の位置にしていないと、首振りが作動した状態が続きます。

### 3. 上下調整

上下調整は、図のように4段階に調整できます。



**⚠ 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

けがや事故の原因となりますので、上下調整の角度を変える時は、スイッチを切り、羽根の回転が止まったことを確認してから操作してください。

## 【仕様】

品名	45cm フロア扇アルミ羽根強風量タイプ
型式	MSFX-20
電圧・周波数	AC100V(50/60Hz)
風量切替	3段階
回転数	強 1380min <sup>-1</sup> (50Hz) / 1500min <sup>-1</sup> (60Hz)
消費電力 (強)	100W(50Hz)/125W(60Hz)
風速 (強)	強 295m/min <sup>-1</sup> (50Hz) / 335 m/min <sup>-1</sup> (60Hz)
風量 (強)	強 155 m <sup>3</sup> /min <sup>-1</sup> (50Hz) / 175m <sup>3</sup> /min <sup>-1</sup> (60Hz)
首振角度	約 90 度
上下調整	4 段階
コード長さ	VCTF 3 × 0.75mm <sup>2</sup> 長さ 2.5m
ファン径	45cm 3 枚羽根 (アルミ製)
本体寸法	幅 686 × 奥行き 185 × 高さ 532mm
質量	約 7 kg

※ 製品の外観・仕様は改良等のため、予行なく変更されることがあります。

## 【保守と点検】

羽根、ガード、モーターにホコリが付着しますと、異常音・振動・モーター過熱などの原因となります。下記手順に従って、各部の清掃を行ってください。

- モーター表面のホコリは掃除機で吸い取ってください。
- 羽根、ガードの汚れは、薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ってください。
- 長時間使用しない場合は、スイッチを切り、差込プラグをコンセントから抜いてください。またホコリがつかないように、本機にビニール袋等をかけて保管してください。

**⚠ 警告** この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

けがや事故の原因となりますので、清掃・点検の際は、スイッチを切り、差込プラグをコンセントから抜いて、羽根の回転が止まったことを確認してから行ってください。

**⚠ 注意** この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的障害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

本体や羽根などを拭く場合は、タワシ・研磨剤・ベンジン・シンナー等をご使用になりますと、塗装面の剥離や変形・破損を引き起こしますので、使用しないでください。羽根に貼付された注意シールをはがしたり、文字を消さないでください。

## 【トラブルの原因と対策】

故障の種類	原因	対策
スイッチを入れても羽根が回転しない	差込プラグがコンセントに正しく差し込まれていない	差込プラグがコンセントに正しく差し込まれているか点検してください。 コードに損傷等がないか点検してください。
運転中に異常音や振動がある	羽根の固定ビスがゆるんでいる	羽根の固定ビスを締め直してください。
	ガードリングのゆるみ	ガードリングのネジを締め直してください。
	固定ネジのゆるみ	各部固定ネジを締め直してください。
	設置場所が不安定	安定した強度のある場所に設置してください。
羽根の回転が遅い	電圧が低い	正しい電圧で使用してください。
	延長コードが長すぎる	延長コードを使用しないでください。

- ◆ 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、直ちに使用を中止し、差込プラグをコンセントから抜いて、MonotaRO へ連絡してください。
- ◆ ご自身で分解・修理は絶対にしないでください。感電・けがのおそれがあります。

**⚠ 警告** この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

本製品はサーマルプロテクター（復帰式過熱保護装置）付きモーターを使用しております。  
モーターが異常発熱すると自動的にモーターが停止し、モーター温度が下がると回転し始めます。  
たびたびこのような症状が出ましたら、使用を止め、MonotaRO にご連絡ください。  
※ サーマルプロテクターが作動し復帰すると、羽根が自動的に回転し始めますので、充分ご注意ください。

## 工場扇についての重要なご案内

長期間ご使用の工場扇では、電源コード・モーター・コンデンサ等の部品の経年劣化による発熱・発煙・発火の危険性があります。ご使用前には必ずご確認ください、次のような症状がある場合には、直ちに使用を中止してください。

- ・ 電源を入れても羽根が回転しない。
- ・ 電源を入れると異常音や振動がある。
- ・ モーター部分が異常に遅い、または焦げ臭い。
- ・ 羽根の回転が異常に遅い、または不規則に回転する。
- ・ 本体・羽根が変形している。

工場扇は工業用機器です。過酷な環境で長時間の使用になることが想定されます。ご使用前には必ず点検し、異常がないことを確認してください。また、ご使用にならないときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いてください。差込プラグをコンセントに差し込んだまま放置しますと、トラッキング現象（差込プラグとコンセントの間にホコリがたまり、そこに湿気が加わると、火花が発生しやすくなります。その熱がコンセントに接する絶縁部を加熱し、差込プラグの刃と刃の間に「トラック」と呼ばれる電気の道が作られ、そこから放電をおこして発火する現象のことをトラッキング現象といいます。）が起こる危険性があります。